

## 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称  
令和2年度第1回美里町在宅医療介護連携推進会議
  - 2 開催日時 令和2年8月4日（火）午後6時30分から午後7時41分まで
  - 3 開催場所 美里町健康福祉センター 保健指導室
  - 4 会議に出席した者
    - (1) 委員  
横山眞和委員、玉手英一委員、大蔵暢委員、野田清一委員、高橋均委員  
吉村英晃委員、佐々木義夫委員、尾形文克委員、伊藤恵委員、武田輝也委員
    - (2) 事務局  
渡辺克也、伊藤博人、相原浩子、五十嵐華絵、小林公美
    - (3) その他  
涌谷町福祉課包括支援班 中野目裕美、早坂宏美  
宮城県北部保健福祉事務所 小笠原貴望  
健康福祉課 菊地知代子、及川沙希  
町民生活課 小林晃太郎
  - 5 議題及び会議の公開・非公開の別
    - 議事  
事業の振り返りについて  
今年度の事業計画について  
美里町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定について
    - その他  
高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的事業について  
介護予防事業について  
認知症事業について
- 会議の公開・非公開の別  
公開

6 非公開の理由

7 傍聴人の人数

1人

8 会議資料

別紙のとおり

9 会議の概要

署名委員 高橋均委員、吉村英晃委員

(2) 議事

<p>(1) 事業の振り返りについて</p>	
<p>事務局 相原より資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・遠田郡医師会との情報共有が進み、事業実施に協力いただけるようになった。</li><li>・医療・介護の関係者の研修については遠田郡医師会の協力のもとに3月に研修会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のために中止とした。</li><li>・地域住民の普及啓発として7月24日に町民公開講座を実施した。委員である伊藤委員に御講話をいただいた。</li><li>・関係市区町村との連携については、宮城県北部保健福祉事務所と随時協議を行ったり、また、涌谷町と事業の連携を図るために随時打ち合わせのほか、涌谷町在宅医療・介護連携推進協議会へ出席した。</li></ul>	
<p>横山委員</p>	<p>事務局から説明いただいたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、せっかくの取り組みが何もできなくなっている。まだこの状況では影響が無いとは言えない状況だ。</p>
<p>相原課長補佐</p>	<p>今年度も研修会等は計画しており、次の議事の中で詳細について御説明させていただく。</p>
<p>(2) 今年度の事業計画について</p>	
<p>事務局 小林より資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・涌谷町の形式に合わせて両町統一の便利マップを作成する。</li><li>・推進会議は年3回の開催とし、以降は11月と2月に開催を予定している。</li><li>・相談支援について広報等で窓口の周知を行う。ホームページを活用した事業の啓発を行う。</li><li>・昨年度に開催できなかった研修会の開催を予定している。参加人数を絞った形で考えている。</li></ul>	

武田委員	<p>講師については昨年と同様にニッセイ基礎研究所の主任研究員の三原さんをお願いしたいと考えている。</p> <p>医療保障や自治体が行う社会保障が専門の方であるが、研究者というよりも全国各地の医療介護行政について取材されている方である。</p> <p>平成27年度から始まった美里町の取り組みであるが更にこれまでの取り組みに加えて広域的な施策の推進を考えると、医療機関の在り方や介護保険事業所など多くの関係者がかかわって答えを出していくといった全国の様々な情報から、今後の進め方について話し合い討論できるような場を設定できるよう本庁の医療政策課と調整をしながら講師選定させていただいた。</p>
横山委員	委員とスタッフで結構な人数となってしまうのではないか。
小林	委員とスタッフで半分くらいにはなってしまう。事業所については各1名程度で絞った参加を想定している。
大蔵委員	便利マップの有効性・有用性について、実際どれくらい使用されているのか。実際にお宅を訪問してもあまり見かけない。
相原	<p>マップ作成時に今ご指摘の点については会議内でも議論されたところである。</p> <p>マップを見て事業所に問い合わせをしたという方が何人いるなどカウントすることは難しい。有用性については指標として表すことは今のところできないと考えている。</p> <p>現在、町民向けと事業所向けの2つのタイプを作成しており、ホームページでも公開している。ホームページのアクセス数については件数を追っているが、あくまでもアクセス数のカウントなので誰が何を目的として検索したのかは不明である。</p>
伊藤	<p>公開ページについては個別ページで作成していることから施設名や病院名で検索して直接該当ページに入ることができる。</p> <p>公開してからある程度の時間が経過しているものの、現在でも各ページのトータルで100～200件のアクセスがある。</p>
大蔵委員	アクセスできない方のために冊子があるとしても、今の説明のようにアクセス数が一定数あるのであればホームページでの公開だけでも良いのかなと思う。
相原	<p>私たちのような介護職や医療職はホームページを活用していると思っている。他の自治体の情報もそうやって検索して見ている。</p> <p>地区に出て訪問して歩くと地区によっては便利マップがあって助かったという御意見もいただいている。以前の会議で御意見も出てい</p>

	<p>るが全戸配布なのか相談の場面で有用なものとして活用していくのかというあたりを、今後検討出来たらよいのかなと思っている。</p>
吉村委員	<p>マップとかというと電話帳の下に挟まって場所がわからなくなってしまう人が多い。町民の皆さんが何を見ているのかというと、やはり広報紙を見ている方が多いので、広報紙にも年に1度でもよいから便利マップの紹介記事などを掲載すればよろしいかと思う。</p> <p>とにかく来所して相談すべき人を取りこぼさないように窓口の周知はしっかりしていただきたい。</p> <p>ネットの周知も大事であるが、周囲の利用者でネットを利用している方はいない。</p>
伊藤委員	<p>利用者でマップに係る会話は少ないながらあったが、どのような時に活用すればよいのかわからないのかなと思う。</p> <p>冊子はあったほうが良いかと思うが、活用方法が見てもわからないので、ケアマネジャーから情報を得たりといった結果となるほうが実際は多い印象である。</p>
横山委員	<p>どのように利用するのか周知するのが問題であるので、御意見があったように広報紙などで平易な言葉で何回か紹介するなど工夫をお願いします。</p>
佐々木委員	<p>ホームページの公開はアクセスできる人は有用であるが、存在を知らない方からすれば使えないツールである。便利マップは無いと困るが全戸配布までは必要ないと思う。どのように運用していくのかを考えていただきたい。</p> <p>一番早いのはネットでの検索だが運用方法についてはしっかりと考えていただきたい。</p>
<p>(3) 美里町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定について</p>	
事務局	<p>伊藤より資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画を策定予定である。</li> <li>・計画の内容について今後お諮りすることもあるかと思うので、よろしく願いたい。</li> </ul>
	<p>(質問なし)</p>
<p>その他</p>	
<p>(1) 高齢者の保健福祉事業と介護予防事業の一体的事業について</p>	
事務局	<p>相原より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の法令の改正により実施することとなった。</li> <li>・宮城県内で今年度から取り組む市町村は少ない。涌谷町は今年度から取り組んでいる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・美里町としては令和3年度から取り組んでいくということで順次調整を進めている。</li> <li>・事業の1番の目的は医療保険制度が年齢によって分けられており、年齢によって受けられる健診の内容が違ったりとか支援や指導の内容も変わっていたり、介護保険制度も高齢者を対象とした制度でありながら医療保険制度との交わりというのがほとんど無い状況であることから、医療保険制度で得られる結果やデータを全然活用できていない状況である。</li> <li>・これらの状況から医療・介護・保健が連携を図りながら介護予防と疾病の予防を図ることが目的となっている。</li> <li>・本日も後期高齢者医療及び健康増進の担当者が会議に出席しているが、今後、美里町の取り組みや事業について情報提供させていただき、皆さまからも御意見をいただきたい。</li> </ul>	
(2) 介護予防事業について	
事務局 相原より説明	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の介護の場で美里町では気軽な場所に介護予防に資する場が無いということ課題として、今年度は高齢者の集いの場づくりに取り組みたい旨を報告させていただいた。</li> <li>・令和2年度は「いきいき100歳体操」というものを普及させるための事業を展開していきたい。</li> <li>・運動は作業療法士と社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと地域包括支援センターで連携しながら事業を実施していきたいと考えている。</li> <li>・今後、一体的事業の健康教育の場としても活用できればと考えている。</li> </ul>	
(3) 認知症事業について	
事務局 小林より認知症介護予防支援事業と認知症初期集中支援事業について紹介	
	終了 午後7時41分

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和2年 月 日

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_